

日本フィルハーモニー交響楽団 有志

1956年創立の老舗のプロオーケストラ。
フランス音楽を設立当初から得意としなが
らもロシア系、北欧系、邦人の音楽にも先鞭
をつけた。2019年のシーズンから首席指揮
者ピエタリ・インキネンと共に「ベートーヴェ
ン・ツィクルス」を2年間かけて推進中で、今、
旬のベートーヴェンが聴ける。

プロのオーケストラプレイヤーに聞く

ベートーヴェン 第1番から第9番

どの交響曲が好き？

ベートーヴェンの交響曲は全部で9曲。そのどれもがまさに
名曲で、それぞれに明確な個性を持っている。日々、これらと
向き合うプロのオーケストラプレイヤーたち。2020年は「ベ
ートーヴェン・イヤー」とあってさらに演奏回数は増えそうだ。毎
年何回も、また何十回、100回を超えて演奏し続けるツワモノ
たちに聞いてみた。

構成／編集部



神尾あずさ

首席奏者 Vn 2

- 1 第6番
- 2 のどかな音楽だから(第4楽章は
ひたすらガマンですが……)。
- 4 《第九》は300回？ もっとかも。
第5番も同じぐらい。第2・第4・第8
は少ないですね。
- 5 日本フィルオリジナル音楽劇《セ
ロ弾きのゴージュ》では室内楽オー
ケストラ版で《田園》を演奏します。
ゴージュの物語で浮かんでくるのど
かな田園風景が心に染み渡りますが、
**第4楽章をひとりでひた
すら刻んで演奏するの
は非常に大変です！**



田村昭博 Vn 1

- 1 第1番
- 2 長すぎず明るい曲調、ヴァイオ
リン的には弾いていて楽しい。
- 4 多い順に100回以上(第5・第9)、
50回以上(第7)、約40回(第6)、約20
回(第1・第3・第8)、10回以下(第2・第4)。

田野倉雅秋 コンサートマスター



- 1 第6番
- 2 ベートーヴェンの「自然」への憧れや敬愛
の念を抱えていることが感じられるから。
- 3 **知性と感情と意志が究極の
バランスで音楽として表現され
ているところ。**
- 4 第6番は約20回。第5・第7・第9が約30回。



太田麻衣 Vn 1

- 1 第8番
- 2 冒頭のテーマから心に受け入れ
やすく、F-durという調も心地よく響
く。明るくさっぱりとした印象。《運
命》、第7番、《第九》のように日常的
に演奏される機会は少ないが、ベ
ートーヴェン自身がお気に入りの交響
曲だったといわれています。第3楽章
のホルンの牧歌的なメロディも素晴
らしく聴きどころの1つ。
- 3 **どの交響曲も素晴ら
しい。**例えば第4番も比較的演奏
回数は少ない方ですが非常に魅力的
で、冒頭の長いゆっくりな序奏から疾
走感のあるテーマに至るまでのゾクゾ
ク感、ワクワク感はやみつきになります。
第9番は演奏回数としてはベストワ
ンですが、指揮者のテンポ感や曲の
内容が神聖で、難解な分、高いアンサン
ブル力が必要。いまだに毎回新鮮な
気持ちで臨めます。
- 4 100回以上(第9)、50回以上(第
5・第6・第7)、第3が約30回。



千葉清加
アシスタントコンサートマスター

- 1 第9番
- 2 計り知れない壮絶な苦悩と闘い、
絶望の淵から自分自身の運命とい
うものを彼は受け止めた。**その先
に得た勝利や勇気の壮
大なエネルギー**によって私
たちは心を揺さぶられるのではない
でしょうか。
- 3 彼の作品知ろうとするほどに奥
が深すぎて尊い存在になっていきま
す。ですが厳格だけに優しく純粋な
心、暗晦だけど澁れた部分を持ち
合わせていること、その二面性が私
たちを更に魅了します。
- 4 第9・第5が約30回。第7は60
回、他は数回。

Question (★一部省略あり)

- 1 9曲のうち、最も好きな曲は？
- 2 その理由は？
- 3 ベートーヴェンの交響曲の
魅力は
- 4 およその自分の演奏回数
- 5 ベートーヴェンの交響曲に
まつわるエピソードがあれば



木野雅之
ソロ・コンサートマスター

- 1 第9番
- 2 毎年、最後に弾く曲だということ
もあるが、充実した作品であることや
合唱団も加わり大勢の演奏者によ
る**華やかな内容がとても
楽しいから。**
- 3 1曲ごとに雰囲気もキャラクタ
ーも違い、メロディも美しく、身体に染
み入り元気を与えてくれるところ。
- 4 **第9番は100回以上。**
ほかには第7番が約50回、第5番・第
6番が約40回、第3番と第8番は約
20回
- 5 2000年に世界中からコンサート
マスターと首席奏者を集めたミレニ
ウム特別オーケストラコンサートがニ
ューヨークで開かれ、日本から代表
で私が参加しました。誰しもが、まさ
か自分が第2ヴァイオリンを弾くとは
思わなかったところ名前のアルファ
ベット順に振り分けられKino以降は
第2になってしまい、初めて弾いたメ
ンバーが全員、同じ場所で落ちたこ
とです！



生誕250年 ベートーヴェン



中里州宏 トランペット

- 1 第6番
- 2 田園の風景が目に見え、
- 4 第5・第6・第7・第9は100回以上、50回(第3)、約30回(第8)、約20回(第4)



信末碩才 ホルン

- 2 どの作品も名作で、どれも好きです。



伊波睦 トロンボーン

- 3 メロディが素晴らしい、構成がしっかりしている。
- 4 100回以上なのは第5・第9。第6が約50回



大貫聖子 Vn 2

- 1 第3番
- 2 初めてベートーヴェンの交響曲を弾いた曲で思い出がある。



大内秀介 ファゴット

- 1 第7番
- 2 第2楽章が好きです。



照沼夢輝 クラリネット

- 1 第9番
- 2 『人類』という存在を肌で感じることができるから。理屈抜きに。
- 3 様式観とも繋がるが、それまでの交響曲にはない人間の肉体的な部分に光を当てた表現は味わい深い。それが良い意味でまとまりすぎているのも魅力。作曲技法的な面では、その後のロマン派以降に大きな影響を与えた緻密な動機作り、楽曲の有機構造は楽譜上の視覚的な芸術性さえ秘めている。



丸山勉 ホルン

- 1 第9番
- 2 9番まで書かれた交響曲の集大成。それまで試みられた手法、アイデアが詰まり、この世界のあらゆるアイテムが集められている。**演奏していても常に新たな発見がある。**エネルギーが必要で自分を試されているような試練、そして世界観は多くの魅力を放ち続けている。
- 3 繰り返したあらゆる情景、心情、そして世界観を音楽という響きを通して巡ることができる真のアトラクションといえる存在。演奏家＝表現者がどう向き合い表現するのかがダイレクトに伝わるのも大きな魅力。
- 4 第9は100回以上。第5・第6は50回以上。次いで第3、第1が多い。



大澤哲弥 Vc

- 1 第4番
- 2 しかめっ面以外のベートーヴェンをたくさん感じる。
- 3 構成力がありエネルギーが溢れる。
- 4 100回以上(第9)、50回以上(第5・第7)、約40回(第6)

E (匿名希望) 金管楽器

- 1 第8番
- 2 清々しい気持ちで終わるから。
- 3 生きていて体験する感情に誠実さを感じる。

【演奏会情報】

■第719回東京定期演奏会(春季)
2020年4月17日(金) 19:00 / 4月18日(土) 14:00
出演/指揮: ピエタリ・インキネン、ピアノ独奏: アレクサンドル・メルニコフ
曲目/ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第2番、ブルックナー: 交響曲第4番《ロマンティック》

■第356回横浜定期演奏会(春季)
2020年4月25日(土) 18:00
出演/指揮: ピエタリ・インキネン、ピアノ独奏: アレクサンドル・メルニコフ
曲目/ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番《皇帝》、交響曲第4番



伊藤恒男 ホルン

- 1 第3番
- 2 華やか。
- 3 重厚。
- 4 第3・第5・第9は50回以上。



伊藤寛隆 クラリネット

- 1 第5番
- 2 ドラマチックであること、音楽としての新しい試みを感じる。指揮者の資質とセンスも現れる作品かな?
- 3 オーケストラの機能が発揮されているところ。
- 4 最も少ない第2番でも10回は演奏している。

A (匿名希望) Va

- 1 第7番
- 2 明るく楽しい曲だから。終楽章の盛り上がりも好き。

B (匿名希望) Cb

- 1 第6番
- 2 名前のとおり、田園の風景を感じることが出来るから。
- 3 何回演奏しても色褪せない面白さがある。人類にとって普遍的な価値があるように感じます。
- 4 《第九》は年に平均10回つまり200回は超えていると思う。第5・n7は50回以上。

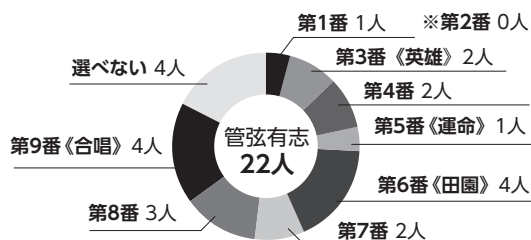
C (匿名希望) Cb

- 1 選べない。どれもアイデア満載。
- 4 《第九》は400回以上。40回以上(第5・第6・第7)、約30回(第3・第8)、ほかは約20回

D (匿名希望) 木管楽器

- 1 第8番
- 2 古典的でシンプルで、華やかさがあるから。

日本フィルハーモニー交響楽団



ベートーヴェン 第1番から第9番

どの交響曲が好き？



池原衣美

Vn 2 首席奏者

- 1 第6番
- 2 数少ない表題音楽で、田園風景での人間の感情が余すところなく表現されている。その中で水の流れや土の香り、風を感じ自然と一体になるような感覚に陥る。ベートーヴェン＝絶対音楽という図式を覆す作品。
- 3 ガッチリとした構成の中でこそ味わえる確実に前進し高みを目指す感覚。
- 4 第5番は100回超え。
- 5 人生で初めての第9番のリハーサルが1回通して終わってしまい、オーケストラでの経験も浅い入団直後、怖い思いをした。



高橋宗久

Vn 2 副首席奏者

- 1 第3番
- 2 遺書を書くほど人生に絶望したベートーヴェンがその運命を受け入れ、心に希望を抱いた強固な意志を感じます。**この曲のテンションはいつでも自分を奮い立たせてくれる。**
- 3 人々が音楽を愛するすべての理由が詰まっている。**もはや宇宙。**
- 4 第5・第7・第9が特に多く、他はかわいいもの。



道橋倫子 Vn 1

- 1 第9番
- 2 深い信仰心と祈りの第3楽章から第4楽章の合唱が入るところまで。
- 何度弾いても喜びに満たされます。**
- 4 第5・第6・第7・第9は数えきれない。他は4～5回。



相蘇哲 Vn 1

- 1 第3番と第9番
- 2 どちらも従来の交響曲形式や楽器編成の常識をぶち破ったこと。
- 3 生きることの喜び、苦悩を突き抜けて歓喜へ！
- 4 今まで就任されたシェフとは全9曲をすべて演奏しました。
- 5 1978年冬、当時所属していたジュニア・フィルハーモニック・オーケストラにて人生初の《第九》本番を前に指揮者の塚原哲夫先生が急逝し衝撃。それを救ってくれたのもまた翌79年のカール・ズッケが演奏する《クロイツェル・ソナタ》だった。



巖崎友美 Vn 2

- 1 第5番
- 2 第1楽章はベートーヴェンの頭の中を探検するような気分になれる。ソソソミミ という短いテーマが色や表情を変えて積み重なるところはパズルのような面白さ。最終楽章は**第2ヴァイオリンはたまらなく楽しい！** C-durの和音で開放される。

日本センチュリー交響楽団 弦楽器メンバー

1989年に大阪府の楽団(大阪センチュリー交響楽団)として発足し、2011年に日本センチュリー交響楽団となり府から独立。19年12月に楽団創立30周年を迎え、現在は50名のメンバーが在籍する。定期演奏会などのほか、録音やジャンルを越えた形態の公演にも積極的で、公演数は年間200回を超える。

Question (★一部省略あり)

- 1 9曲のうち、最も好きな曲は？
- 2 その理由は？
- 3 ベートーヴェンの交響曲の魅力は
- 4 およその自分の演奏回数
- 5 ベートーヴェンの交響曲にまつわるエピソードがあれば



荒井英治

首席客演コンサートマスター

- 1 格別には幸せな思いをさせてくれる第6番。
- 2 いささかも観念的ではなく、彼の人間性の純粋なところからくる「信仰告白」と感じられるから。
- 3 **全9曲がひとつとして同じ顔をしていないところ**です。また各楽章が互いに補完しあっていることも画期的。



後藤龍伸

コンサートマスター

- 1 あえて挙げるなら第9番
- 2 後期弦楽四重奏曲に通じる革新的な発想。
- 3 管打弦楽器すべての奏者が**学ぶべき普遍的音楽がそこにある。**たとえ楽器の構造が当時の物とは違っていても。
- 4 第3・第5・第6・第9は50回以上。



西川茉莉奈

アシスタントコンサートマスター

- 1 第9番
- 2 年末になると《第九》の季節。第3楽章は「オケスタ」で向き合うし、毎年弾いていて**飽きないのは名曲で大曲だから。**メロディを弾きながら今年1年を振り返る。
- 5 ドイツに留学中、元旦に聴いたバレンボイム指揮、ベルリン・フィルの《第九》はとても新鮮で印象的だった。歳を重ねるごとにベートーヴェンの偉大さ、憧れの気持ちが強くなり、全曲演奏に挑戦したい。



松浦奈々

コンサートマスター

- 1 どの曲も素晴らしい。第6番
- 2 絶不調のときにこの曲のエネルギーに救われた。
- 4 第3・第5・第6・第9は20回以上。第4番は先日初演奏。



生誕250年 ベートーヴェン



村田和幸

Cb 首席奏者

- 1 ダントツで第4番
- 2 一番好きでよくCDなど聴くのに一番演奏回数が少ない。
- 3 スケールの大きな建築物を慎重に組み立てながら同時にとても心が熱くなる場所。
- 4 第5・第9は100回以上。第3・第6・第7は約30回。第1・第2は約10回。
- 5 第9番全楽章をコントラバスひとりで弾いたときは手も心もしびれた。



末永真理 Vc

- 1 第7番
- 2 この第2楽章は**すべての曲の中で最も心に沁みる旋律**のひとつ。弾くときどきの心のありようを映し出し、その深淵へ誘われる。数えきれないほど弾いているのに、いつも新鮮。生きるパワーをもらえる。
- 4 《運命》だと思いがカウントできない。

【演奏会情報】

■第244回定期演奏会

2020年4月9日(木) 19:00
会場/ザ・シンフォニーホール
出演/指揮: 秋山和慶、ピアノ独奏:
デジュ・ランギ
曲目/ベートーヴェン: ピアノ協奏曲
第4番、交響曲第3番《英雄》



高橋宏明

Vc 副首席奏者

- 1 第6番
- 2 出だしのテーマがいい。優雅で平和。このF-durは少しだけ湿気を含んだようなほっこりしたぬくもりを感じます。
- 3 料理に例えるなら素材の確かさと調理法、味付けの巧みさでしょうか。大胆にして繊細、全体として完全に整っている。その凄さは歳を経てより一層、感じる。
- 4 第5は100回以上、第9が約80回。第3・第6・第7は50回ぐらい。
- 5 《第九》の初体験は大学1年生のときの合唱(テノール)でした。硬い板に座り出番までじっとしている苦痛。合唱の方々には敬意を表さずにはいられません。



飯田隆 Va

- 1 第3番
- 2 人生で初めて全楽章を弾いた交響曲。ジュニアの時代で、指揮者は山田一雄先生だった。真っ白な髪のおさなおじいちゃんだったが、指揮台で飛び跳ねるわ唸るわ、衝撃的な体験でした。
- 3 オーケストラがよく鳴るオーケストラレーション。
- 4 第5・第9が100回以上。第7が30回、第6は20回、第3が10回、あとは数回。



増永雄記

Va 副首席奏者

- 1 第9番
- 2 自分の人生を左右するほどの強烈な衝撃を与えてくれた。高校生のときに初めて自分で購入したクラシックのCD=カラヤン指揮、ベルリン・フィルの《第九》でした。壮大な響きと音の力に圧倒され、一気に引き込まれ、**自分が音楽の世界で生きていこうと決心したきっかけになった曲**です。



内藤謙一

Cb 副首席奏者

- 1 第3番と第8番
- 2 曲想の驚くべきバラエティと、Cbをキャラの立った独立パートとして扱ってくれた第3番。フレージングのイレギュラーさと、散りばめられている各種のトリックで第8番。
- 4 第5・第9は100回以上。第6・第7は約40回。第3は約30回、第2・第4が約20回、第1・第8は約10回。
- 5 自楽団で鈴木秀美さん指揮の第8番、第5番を演奏したが丁寧で濃密なリハーサルを経て楽譜が音になっていく充実した体験をした。



中屋響 Vn 2

- 1 第7番
- 2 第4楽章の**第2ヴァイオリンとヴィオラの刻みがすごく好き**。
- 3 とても人間味を感じられるところ。
- 4 第5・第9は数えきれないが、ほかは3〜6回程度。
- 5 ゲルハルト・ボッセ先生が亡くなる数か月前の指揮での演奏会。手はほとんど動いていないのに伝わってくるエネルギーはすさまじく、一生の思い出。



須田祥子

Va 首席客演奏者

- 1 第8番
- 2 最も演奏されない1曲かもしれないが、絶対的名曲。伝わらないけれどめちゃくちゃ大事な仕事をしている実感があり、それがとても「ベートーヴェンらしい」と感じるから。特に4楽章の2小節に萌える!



信じられないような筋肉酷使の肉体労働の隙間に、とてつもなく美しい大事なフレーズを歌う何とも言えない幸福感。**天才**。

- 4 第9は100回に迫るか超えたぐらい。**自動演奏モード搭載**。

日本センチュリー交響楽団

※第1番、第2番 0人

第3番《英雄》 4人

第4番 2人

第5番《運命》 1人

第6番《田園》 3人

第9番《合唱》 6人

第8番 2人

第7番 2人

弦楽器
18人

北口大輔 Vc 首席奏者

- 1 第4番、第9番
- 2 中期の傑作で優しさ、美しさ、男らしさ、楽しさ、ユーモア、哲学などすべてが内容されている第4番。第9番は世界遺産に登録されるべき作品。音楽の歴史のすべてが集約され、その後の作曲家もこの作品を超えることができなかった。
- 3 究極のポジティブさ! そして演奏者、聴衆**その場にいるすべての人を幸せにする強烈なエネルギー**。